

南アルプス市立八田中学校
平成 30 年度 学校だより
No.15<2019.3.20>

学校だより



発行者
校長 石丸洋一

★★ 1・2年生のみなさんへ！ ★★

この一年間の学校生活を振り返り、新しい学年への心構えを持ちましょう！

3月12日には、第29回卒業証書授与式が行われ、多くの来賓と保護者の皆さんが見守る中、83名が新たな門出に希望をふくらませて本校を巣立っていきました。卒業生はその姿は、胸を張って堂々とした立派な態度で、未来への希望に満ちあふれ、一人ひとりが輝いていました。また、式に参列した在校生の皆さんも一人ひとりが集中して式に臨み、厳粛でかつ感動的な式であったと思います。

さて、皆さんは、来週の3月25日(月)の修了式にて、平成30年度の教育活動を終えることとなります。そこで、新しい学年に向けての準備をこの春休みにして、夢や目標を持って4月を迎えてほしいと願っています。

◆◆ この春休みをどのように過ごすかについて ◆◆

春休みは、夏休みや冬休みに比べて期間が短いです。でも、この休みは、新しい学年への心構えを持つための大切な期間です。短い期間でも、やる気とその努力を重ねることで、成果が目に見えて現れてくる瞬間でもあるのです。

さて、1年生、2年生の皆さんは、新しい学年の始業式にはそれぞれ2年生、3年生へと進級します。この間は約2週間です。この2週間で果たして自分を少しでも変えることができるのでしょうか。「できる」と思います。それは、あなた自身のやる気だと思います。

ところで、皆さんの中には、『男子三日会わざれば刮目して見よ(だんしみっかあわざればかつもくしてみよ)』という言葉(慣用句)を聞いたことがあるという人がいますか。この言葉の原文は、『三国志演義』が出典で、勇敢(ゆうかん)ながらも知性(ちせい)や教養(きょうよう)がなかった武将の呂蒙(りょうもう)が、熱心に学問に励んで成長し、その様子を驚いた相手に返した言葉だそうです。

別の言い方をすれば、『日々鍛錬(修養・訓練を積んで心身をきたえたり技能をみがいたり)すれば、その人は3日も経つと見違えるほど成長している。』ものだと言う意味です。

そこで、皆さんには、新しい学年の始業式の日、「先輩が入学して先輩となる」新2年生、「本校の最上級生となる」新3年生という、『刮目して見よ(目をこすってよく注意して見よ)』という自己意識の変化を期待しています。先輩として、最上級生として、八田中学校に入学してくる新1年生に、中学生って何か違うと思わせる雰囲気をつくるのは、新2・3年生の皆さん一人ひとりです。

ちなみに、「男子」と言っていますが、言った本人(呂蒙)が男性ということだけであって、性別を特定した格言ではないと思います。

===== この機会に、調べてはみませんか！ =====

- ① 三国志の3国の1国、呉(ご)の国に、呂蒙(りょうもう)という勇猛(ゆうもう)な武将がいました。
- ② 孫権(そんけん)は⇒語り合ってみると、呂蒙(りょうもう)は以前とは比べものにならぬほど豊かな学識を備えた人物へと変貌(へんぼう)を遂げていたと言いました。
- ③ 魯肅(ろしゅく)は⇒私は、君(呂蒙)が武勇一辺倒(ぶゆういっぺんとう)の人だと思っていた。しかし、今では学識も豊かで、見違えるようだと言いました。

☆☆☆ 保護者の皆様、一年間ありがとうございました！ ☆☆☆

今年度は、『気づき 考え 実行する。』と『当たり前のことを、みんなできちんと実行する。』ということ 키워ドにして、「授業を大切に」「規則正しい生活を大切に」「友達を大切に」など、子どもたちを励ましてきました。

また、「やればできる。必ずできる。」という自己肯定感を高めさせるために、夢や目標を持たせ、学習や日常の取り組む姿などから、頑張っていこうとする子どもたちの良さを多面的に評価することを大切に教育活動に取り組んできました。

この一年間の子どもたちの学習や生活の様子が記された『通信表』を読みながら、一人ひとりの一年間での確かな成長を伺うことができました。そして、何よりは、大きな事故や怪我もなく、全員が揃って進級できることを、とても嬉しく思います。

最後に、この一年間のご支援とご協力に感謝申し上げます。来年度も引き続き暖かいご支援を、よろしくお願い申し上げます。